

今年も台風18号の影響で冠水、ロゼットは泥の中に埋まった

7, 8月の猛暑が過ぎて9月に入ると、乾いた圃場に恵みの雨が降り、カワラノギクは息を吹き返し遅れを取り戻そうと「ぐんぐん」と成長始めたが…今年も台風シーズンが到来、関西地方に河川の氾濫・土砂災害などの爪痕を残した豪雨は関東を縦断、神川橋下の圃場も今年初めて冠水した。

9/15(土)冠水9時間9/16(日)冠水17時間、城山ダムからの放流後に水位が上昇、今回は泥流が多かったと見えて約2cm～4.5cmの堆積



9月15日 16:00頃の圃場間通路
水溜まり、ゴミ散乱、圃場は泥が堆積



9月15日 16:00過ぎの第2圃場
成長した茎にゴミ付着、ロゼットは泥の中



9月15日 16:00過ぎの第3圃場から見た俯瞰
第3圃場の上流側は伏流水で水溜まりが広い



9月17日 台風一過秋晴れの第1圃場
成長した茎やロゼットは泥の上、小さいロゼットは下



9月17日 第3圃場は深い泥で覆われる
泥の深さは約2cm～4.5cmと深かった



第2圃場 今年2回目のネナシカズラ発生
除去済…雑学:ネナシカズラの種は強壯効果有り

台風18号による降雨でカワラノギク圃場は約26時間の冠水、相模川神川橋下流50m付近の水位変化と冠水時間を観察

所管	位置	所在地	零点高
京浜河川事務所	右岸6.58k	神奈川県平塚市田村 (神川橋下流約50m)	TP:0.0000m (標高0.0000m)

* 国土交通省 テレメータ水位より作成

項目	基準値	水位
水防団待機水位	450m	
はん濫注意水位	550m	5.22m ↑
避難判断水位	570m	
はん濫危険水位	680m	

※TP(東京湾平均海面)

【神川橋下カワラノギク圃場の冠水について】

- ①圃場の冠水水位をこれまでの観察から約1.75m~2.00mと推測
- ②豪雨があると急激に水位が上昇、ダム放流で流量が更に増加
- ③連続した豪雨でなければ短時間で水位が下がり圃場が現れる

9/17(月)台風18号による増水後の神川橋下河原について

1) 圃場内のゴミ(流木)



2) 泥の堆積(第3圃場)



3) 玉石河原が再生…河原はきれいになったが、ゴミは海岸へ！



下流ワンドの復元

